

～魅力ある林業への展開を目指して～

# 富山県西部森林組合

## 第2次中期経営計画

(令和3年度～令和7年度)

### 経営理念

富山県西部森林組合は  
**森林整備のための高度な技術集団**として  
**豊かな森林の造成**に努めることにより  
**森林所有者への利益還元**を増大するとともに  
**森林の持つ公益的機能の維持**及び  
**森林生産力の増進**を図り  
もって**地域社会の持続的発展**に寄与します。



### 経営方針

#### 課題

- ・ 安定的な経営
- ・ 集約化合意形成の更なる効率化
- ・ 人材の確保・育成の強化、労働環境改善
- ・ もりもりハウスの安定経営
- ・ 所有者不明森林の増加・組合員の減少
- ・ 素材出荷数量の鈍化
- ・ 森林経営管理法の施行
- ・ 固定資産の計画的な利用及び処分

#### 経営ビジョン

1. スマート林業による事業運営の改善を図る。
2. 計画的な森林整備と林産事業の重点化により持続的な森林経営を展開する。
3. 人材の確保・育成を強化するとともに労働環境の改善を図る。
4. 加工部門（オガ粉生産）の強化及びもりもりハウスの改善を図る。
5. 組織の体質強化を図る。
6. 各取り組みを進め、事業利益を改善するとともに、SDGsの目標達成に貢献する。

#### 行動指針

チームワーク 現場重視 改善 チャレンジ

# 第2次中期経営計画における戦略

## 1. スマート林業による効率化と経営基盤の強化

《基本方針》 ICTを活用したスマート林業により、事業の効率化、事業分析、会計事務の効率化、期中での収支試算を実施し、収支改善を図る。

※ICT・・・「Information and Communication Technology」  
「情報通信技術」のこと

### ICTを活用した業務の流れ

#### (1) 高精度な事前調査

##### ■ 航空レーザー測量による詳細な森林情報の把握

- 地形・地理情報、森林資源情報のデータを管理する (R3)
- 高精度な事前計画の樹立を行う (R3)



#### (2) 施業集約の効率化・省力化

##### ■ 所有者情報整理等の業務プロセスを自動化

- 入力作業のオートメーション化[RPA]により業務を効率化する (R3)

##### ■ 森林資源情報を活用した見積作成システム

- レーザー解析データを活用し高精度な見積りを作成する (R4)

#### (3) 出材予測・工程管理の精度向上

##### ■ 森林調査データを活用した出荷予測システム

- 木材の安定的・効率的な供給体制を構築する (R4)
- 需給動向を踏まえた木材生産管理の体制を強化する (R4)

##### ■ 工程表管理システムの導入

- 出材予測と連携し多様な注文販売に対応する (R4)
- 徹底した工程管理により工事期間を短縮する (R4)

#### (4) 業務の効率化・採算性の向上

##### ■ スマホや新たなツールによる出来高管理システムの導入

- GPS情報等の取得により進捗・生産性を見える化する (R4)
- 勤怠、勤怠情報の自動記録により分析を行う (R4)

##### ■ 出材予測と連携したトラック配車システム

- 出材から納品までのシステム管理を行う (R4)



#### (5) 安全性の向上

##### ■ 通信環境の整備

- 現場内基地局により緊急時の連絡体制を強化する (R4)



#### (6) 情報の高度化・共有化

##### ■ 生産・コストの情報共有

- 会計システムと連動し、即時に生産・コストを現場従業員と共有する (R5)

##### ■ 会計一元化システムの構築

- 勤怠管理情報と連動し重複作業を削減する (R6)

## 2.集約化・林産業務の効率化

《基本方針》 集約化10ヵ年計画を策定し、更なる大団地化を進める。  
 施業の2年前から事前調査を進め、効率的な合意形成と効果的な森林整備を実施する。  
 徹底した現場管理による生産性、収益性、安全性の向上と労働環境の改善を実現する。

### (1) 集約化団地の大規模化

- 1団地当たりの施業面積を100haに拡大
  - 集約化団地数を削減し効率化を図る
  - 地域に必要な森林整備を団地内全域で効果的に配置する

集約化計画 単位：ha

	R3	R4	R5	R6	R7
団地数	23	11	8	7	7
団地当たりの集約化面積	24	63	88	99	101
森林整備面積	552	693	704	693	707

### (3) 大団地化による収益性・生産性の向上

- 各取組みにより生産性を12%向上
  - 合意形成、事前準備を早期に行うことで従業員の手待ちを解消する
  - 既設道改良等の準備作業を効果的に行う
  - 人、機械、資材の団地内連携によりボトルネックを解消する
  - 団地内での効率的な原木輸送体制を構築する
  - 大型トラックによる輸送を強化する
  - 現場管理プランナーの常駐により綿密な施工管理・安全管理を行う

### (2) 合意形成の効率化

- 2年前から事前調査を開始
  - 早期の調査により効率的な合意形成と高精度な計画策定を行い効果的な森林整備を実現する
  - 行政との連携により恒久的な情報管理を図る
- 森林施業プランナー業務の細分化
  - 事前調査プランナー・合意形成プランナー・現場管理プランナーを専属化し業務の負担を軽減、合意形成の省力化を図る

### (4) 素材生産量の拡大

- 出材量70,000m<sup>3</sup> (R7) の達成
  - 大団地化によるスケールメリットにより効率化を行う
  - 主伐の増大を図る(再造林、初期保育、更新作業の徹底含む)
  - 有用広葉樹の活用を拡充する
  - 民間事業者との連携を強化する

出材計画 単位：m<sup>3</sup>

	R3	R4	R5	R6	R7
出材量	58,600	61,200	64,200	67,300	70,200

## 3.人材の確保・育成

《基本方針》 入口戦略の多様化・強化、計画的な人材育成、組合内研修環境の整備を実施する。  
 安全教育の徹底、働きやすい環境を整備する。

### (1) 入口戦略・人材育成の強化

- 技術の継承、魅力ある職場を実現
  - 人材育成プログラムを導入し、教育体制を構築する(資格取得59、社外研修32、社内研修108項目のプログラムを実践)
  - ※プログラムの詳細はホームページを参照

人材育成計画 単位：名

区分	R3	R4	R5	R6	R7
職員数	37	37	38	39	40
常用人	88	86	85	84	84
内森林従業員	58	57	55	56	56
森林整備業者登録社/人数	47/140	48/145	49/150	50/155	51/160

### (2) 安全対策・労働環境の改善

- 安全管理の徹底、安全装備品のさらなる充実によりゼロ災を目指す
- 働きがいのある仕事、働きやすい環境の整備
  - 働き方改革認定制度を導入する
  - 事業利益、原価管理等の結果を待遇に反映させる



# 第2次中期経営計画における戦略

## 4.加工部門（オガ粉生産）の強化 もりもりハウスの収支改善

《基本方針》 オガ粉の安定的な受注の確保 及び もりもりハウスの収支改善を目指す。

### (1) オガ粉施設の安定的な受注の確保

#### ■原木の確保

→更新伐の計画的な推進、素材生産業者との連携により原木を安定的に確保する

#### ■安定供給による顧客との信頼関係の構築

→複数年契約を継続する

### (2) もりもりハウスの販売強化

#### ■販売強化

→商品や仕入れ体制の見直しを行う  
→きのこ、薪束、地域特産品の販売を強化する



## 5.組織の体質強化

《基本方針》 固定資産の計画的な導入及び処分を進め、組織の資本効率を改善する。  
組合員に信頼され、地域に貢献する適正な運営、公平で透明な組織づくりを行う。

### (1) 固定資産の新規導入・処分

#### ■事業計画に即した機械・設備の導入

→計画的な設備投資計画により生産性向上を目指す



#### ■固定資産の計画的処分

→遊休固定資産を計画的に処分するため積立を行う

### (2) 組合員、地域から信頼される組織体制づくり

#### ■地域貢献のための仕組づくりの実施

→地域活動に参加しやすい組織づくりを進めるための就業規則の改正を行う

#### ■災害時応援の体制強化

→自然災害等、不測の事態発生時に行政や電力会社に協力できる体制を構築する



## 6.SDGsの取組み

《基本方針》 S D Gsの取組みを宣言し、各事業の取組みを進める。



※SDGs・・・「Sustainable Development Goals」持続可能な開発目標」のこと

### ■持続可能な森林経営



### ■木材の効率的な 生産流通及び加工



### ■人材の育成



### ■働きやすい環境づくり

